奈良

金・プラチナ・ロレックス・LV
わきもと質店
桜井市桜井1006
☎0744-42-2215
●お盆休みは 8/11～14 です

天気

	きょう 6時	9	12	15	18	21	24	あす
北部	34 24 ⑩							35 26 ㉚
南部	37 23 ⑩							33 23 ㉚

週間天気

	14日(水)	15日(木)	16日(金)	17日(土)	18日(日)
北部	36 26 ㉚	35 26 ㊵	34 26 ㊿	32 25 ㊿	34 25 ㊵
南部	34 23 ㉚	33 23 ㊵	32 23 ㊿	30 22 ㊿	32 22 ㊵

のち 一時・時々 5㍉未満 5㍉以上
数字(上)最高気温 (下)最低気温
丸囲みは降水確率 白ヌキは50%以上
↘は正午の風向き 矢印なしは無風

こよみは下に掲載

支局長からの手紙

酷暑より熱きもの

先週末、帰宅すると室内の温度は37度でした。想像を超える熱波です。皆さんの体力と気力、そして食欲はいかがでしょうか。「奈良は知れば知るほど深みにはまる」。前回に続き、古都の魅力にとりつかれた人たちに出会いました。

きっかけは1枚の報道資料です。「奈良好きによる奈良好きのためのマニアックツアー」。ならまち周辺を半日歩き、奈良漬けとしょうゆの製造現場を訪問。日本酒を飲み比べる「醸(かも)してめぐる奈良」とあります。発信元は、奈良市の「ホテルアジール・奈良」。昔から工場見学や職人さんの仕事場を見るのが大好きです。しかも資料からむんむんとした熱量が伝わってきます。早速、同行取材をお願いしました。

午前8時、ホテル前から小型バスに乗り込むと、「なら・観光ボランティアガイドの会」の信吉優さんが先制パンチを繰り出します。「大仏さん、鹿だけが奈良ではありません。志賀直哉は『奈良にうまいものなし』と書きましたが、そこだけが切り取られ、今でも奈良の足かせになっています。奈良の名物、名産は山ほどあります」

一連のツアーは「アジールさんぽ」として昨年5月に始まりました。定番の観光地巡りにとどまらず、古都の奥深さを知ってもらう狙いです。怪しい民話や冬の早朝散歩など異なるテーマで5回開かれ、今回初めて食を取り上げました。定員は10人、3日間同じ内容です。

奈良漬けの製造元「奈良屋本店」に着くと、周囲には独特の甘い匂いが漂っています=写真。作業場では容器の中にたくさんのキュウリが並べられ、職人さんが塩を振っています。3代目代表の増田幸彦さん(63)が、これまたジャブを出します。「県外の工場で漬けたものや保存料の入った製品が多い。でも奈良漬けなのだから、奈良の食材を奈良の酒かすで漬けるのが当たり前。手間はかかるが、それがアイデンティティーだ」。こだわりの原材料や製造工程、おいしい奈良漬けの見分け方などをユーモアたっぷりに説明していきます。一切れを口に含むと、野菜のうまみと酒かすが絶妙で、朝にして一杯が欲しくなります。

次に訪れたのは、創業160年を迎えた「イゲタ醤油醸造元 井上本店」。住宅街の一角から入った工場はレンガ造りで風格があります。長期熟成、天然醸造にこだわって昔ながらの工法を守ります。印象的だったのは、存在感のある木おけ。多くの製造元で鉄などのタンクに置き換わりましたが、最近は木おけも見直されています。

伝統を忘れず、同時にチャレンジする意気込みを感じます。地元の人は「うまいものなし」発言をどう捉えているのでしょうか。同行していたホテル支配人の井場眞粧美さんに聞くと、「奈良には歴史があり、おいしいものはたくさんある。SDGs(持続可能な開発目標)やガストロノミーにも取り組んでおり、発言はとても悔しい」。奈良に来る前、私は同僚から初めて発言を聞きました。でも実際に住んでみると、垂涎の地場逸品にあふれています。

最後の訪問先は、春鹿の醸造元(今西清兵衛商店)。多数の輸出も手掛ける、言わずと知れた銘酒を造っています。女性ばかりの参加者はテーブルに着き、飲み比べで盛り上がります。大阪市から来た女性はソムリエなどの資格を持ち、発酵食品に興味があるそうです。「プロの話は勉強になった。(奈良の魅力は)レトロさに新しいものを取り込んでいくところ」。ホテルに戻った一行には、特別献立のランチタイムが待っています。

ツアーは、ホテルの若いスタッフたちが企画しました。奈良検定にも合格した、まさに奈良好きが自前でコースを考え、何度も下見を重ねたそうです。ツアーをきっかけに奈良をもっと好きになってほしい、との願いを込めています。少し驚いたのは、ツアーのパンフレットを他のホテルも快く置かせてくれるそうです。ファンを増やしたいという目標は同じ。古里への誇り、愛着が根底にあるのでしょう。酷暑に負けないほどの熱気を感じる、何とも心意気ある小旅行でした。

【奈良支局長・井上大作】

奈良 少年時代の体験 紙芝居で

戦況・故郷の激変描く

紙芝居「いくさの少年期」に聴き入る来場者=奈良市で

市民団体が毎年夏に開いている「平和のための市民団体の奈良市戦争展」(毎日新聞奈良支局など後援)の紙芝居「いくさの少年期」の上演が、奈良市杉ケ町の市生涯学習センターであった。元弁護士の田中幹夫さんが少年時代、太平洋戦争で体験したことを基にした作品で、地域住民ら50人が来場した。

田中さんは戦死した恩師のことが忘れられず2015年、小説「いくさの少年期 1941～1945」(文芸社)を出版。自身が暮らした福井市が戦争により3年7カ月間で激変する状況をつづった。紙芝居の絵は田中さんの思いに共感した北海道帯広市在住の画家、真野正美さんが無償で描いた。

紙芝居では開戦を告げるラジオ放送や市民が戦勝気分に沸く様子、悪化する戦況、福井市の大空襲などを描写。プロジェクターに投影し、作家の寮美千子さんが読み上げた。田中さんはあいさつで「戦時中は少しずつ貧しくなり、街を歩く兵隊の数が増えるなど、気付けば悪い方向に向かっていた。市民が黙っていると、これからの日本も危険な状況になりかねない」と警鐘を鳴らした。堺市の自営業の男性(69)は「紙芝居を見る機会が子どもらにも広がり、世の中の反戦意識が高まってほしい」と話した。【山口起儀】

戦後80年へ

負の遺産 次代へ伝える

16日まで 市役所で資料展示

大和高田

日中戦争や太平洋戦争に関する資料を集めた「平和のための戦争展」が大和高田市役所多目的スペースで開かれている。16日まで。

市職員組合と市教職員組合が1982年から開催。今年は奈良市に駐屯していた旧陸軍歩兵第38連隊に関する写真パネルを中心に計約200点の資料を展示した。

「平和のための戦争展」の展示を熱心に見つめる来場者=大和高田市役所で

第38連隊関係では36年に国鉄奈良駅前で行われた「凱旋報告」の様子や旧満州(中国東北部)チチハルにあった兵舎の写真を出展。

また、戦下の庶民の生活にもスポットを当てた。地域住民の寄付により製造され「高田町民号」などと命名された陸海軍の「献納飛行機」に関する資料や、愛国心を高揚させる目的で作られた「愛国百人一首」の実物も会場に並んだ。

主催者は「戦争の事実をしっかり見つめ、負の遺産を次の世代に伝えていくきっかけになれば」と話している。入場無料。【浜名晋一】

暗闇に浮かぶ光のオブジェ

桜井

談山神社・18日まで

桜井市多武峰(とうのみね)の談山神社で10日、境内の約500個の灯籠(とうろう)が一斉にともされる夜間ライトアップが始まった。18日まで、暗闇の中に淡い光が浮かび上がる幽玄な景色が楽しめる。

先祖を慰霊して家内安全を祈る夏祭り「献燈祭(けんとうさい)」(14日)を盛り上げようと、昨年に続き企画された。参道の石灯籠や石階段に小型灯籠が並ぶほか、毎年春と秋に「けまり祭」が行われるけまりの庭には、まりを模した竹かごと色とりどりのライトを組み合わせた光のオブジェが設置された。土居三純・権祢宜は「今年の光のオブジェは立体的に配置した。ぜひ楽しんでほしい」と話している。

ライトアップは日没～午後9時。入山は午後8時半、建物拝観は午後8時まで。14日の献燈祭は午後6時から営まれ、拝殿の約150個の釣り灯籠が点火される。入山料は中学生100円、小学生50円。

まりを模した竹かごが並ぶ「けまりの庭」の光のオブジェ=桜井市多武峰の談山神社で

志望校選びのポータルサイト
中学受験.JP
私立中学の学校情報、受験に役立つコラムなどを掲載!
受験生・保護者のためになる

星の占い 12日

マーク・矢崎

★牡羊座(3・21～4・19)
誰かに裏切られそう。揚げ足を取られないよう注意して。
★牡牛座(4・20～5・20)
言葉足らずで誤解されそう。身ぶり手ぶりで説明が吉。
★双子座(5・21～6・21)
疲れがたまる時。注意力が散漫になるので注意して。
★天秤座(9・23～10・23)
人間関係が安定する時。優しさや寛大さが幸運の鍵に。
★蠍座(10・24～11・22)
得意分野で注目されそう。日々の努力をアピールして吉。
★射手座(11・23～12・21)
外出先でのトラブルあり。不安は早めに確認して無難。

きょうはこんな日

各項目は4段階で表示。項目は

	紫外線	洗濯	熱中症
北部	4 非常に強い	3 乾きやすい	3 厳重警戒
南部	4	4	3

あすのこよみ

8月13日(火)
旧暦7月10日
(仏滅) 長潮

月齢	8.7
月出	13:15
月入	23:07

母なる海からの贈り物
海洋深層水・宮古の水
自然塩・深海の華